



主编 侯仁锋

学生用书 第三册

日本語




听力

第二版



普通高等教育「十五」国家级规划教材

 华东师范大学出版社



高校教材

学生用书 第三册

日语听力

第二版

主 编 侯仁锋
 副主编 宫本品子 梁高峰
 编写者 (按姓氏笔画排列)
 王 晶 孙 莉 沈丽芳 侯仁锋
 宫本品子 段笑晔 梁高峰 薛红玲



普通高等教育“十一五”国家级规划教材



华东师范大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语听力学生用书·第三册(第二版)/侯仁锋主编.
—上海:华东师范大学出版社,2007.5
ISBN 978-7-5617-5367-5

I. 日… II. 侯… III. 日语—听说教学—高等学校—
教学参考资料 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 066530 号

日语听力学生用书·第三册(第二版)

主 编 侯仁锋
项目编辑 朱建宝
特约编辑 陈丽菲
文字编辑 陈丽菲 尹 宁
封面设计 黄惠敏
版式设计 蒋 克

出版发行 华东师范大学出版社
社 址 上海市中山北路 3663 号 邮编 200062
电 话 021-62450163 转各部 行政传真 021-62572105
网 址 www.ecnupress.com.cn www.hdsdbook.com.cn
市 场 部 传真 021-62860410 021-62602316
邮购零售 电话 021-62869887 021-54340188

印 刷 者 华东师范大学印刷厂
开 本 787×1092 16 开
印 张 19.50
字 数 353 千字
版 次 2007 年 10 月第一版
印 次 2007 年 10 月第一次
印 数 6000
书 号 ISBN 978-7-5617-5367-5/H·326
定 价 42.00 元(含光盘)

出 版 人 朱杰人

(如发现本版图书有印订质量问题,请寄回本社市场部调换或电话 021-62865537 联系)

出版说明

《日本语听力》教材初版于1998~2001年间。该教材的编写得到了日本国际交流基金会的大力支持,每册主编均应邀赴日,在日本语言和文化学界一流专家的指导下,几易初稿直至通过审核定稿。全套教材由五册组成,即入门篇、第一册、第二册、第三册和第四册。每册配有学生用书、教师用书和磁带。本套教材出版以后,得到了国内日语界的广泛认可,每册教材多次印刷,现已成为我国高校日语专业听力课程的首选教材。

随着时间的推移,日本的社会文化发生了巨大的变化,中国的日语教学理念也不断更新;广大教师在使用这套教材的过程中有诸多心得,也积累了不少经验。因此,我们决定修订这套教材,以适应上述变化,满足不断发展的日语教育的要求。

这次修订后的教材,由原来的五册改成四册,具体是:入门篇(内容不变)、第一册和第二册(修订内容均在1/2以上)、第三册(内容全新);修订后的“教师用书”改为“教学参考书”,每册均配CD光盘(并有磁带供选用)。华东师范大学的沙秀程(现任日本九州女子大学教授)、徐敏民教授和杜勤教授继续担任入门篇、第一册和第二册的主编,第四军医大学的侯仁锋教授担任第三册主编。

为修订好这套教材,我们曾召开高校日语听力教师的座谈会。上海外国语大学、同济大学、东华大学、上海水产大学等一些高校的日语教育专家和一线的教师,对教材的修订工作提出了宝贵的意见,在此谨表示衷心的感谢。

2006年4月,这套教材被国家教育部批准为普通高等教育“十一五”国家级规划教材。我们相信,修订后的教材会以更高的质量呈现在广大读者面前,为我国的日语教育作出更大的贡献。我们真诚地希望,日语教育的专家、学者以及广大读者继续对本教材提出宝贵的意见,以便不断改进,精益求精。

华东师范大学出版社

2007年7月

前 言

《日本语听力》第三册,在华东师范大学出版社的大力支持下,经过八位在第一线教学的老师的共同努力,作为修订版,以崭新的内容和形式,付梓问世了。

近些年来,学界对听力的研究有了新认识,新见解,新成果。本册教材是在充分地吸收这些新的研究成果的基础上编写的,具有以下一些特点:

1. 听力材料完全是口语材料

听力课的目的是培养学生从声音媒体获取信息的能力。那么声音媒体是什么呢?不言而喻,就是“说”。即“听”的对象是“说”。所以听的材料必须是口语化的材料。口语材料又分对话型和独话型,这些本册教材都兼顾到了,所使用的听力材料都是自然、地道的口语文本。

2. 听力声音材料原汁原味

得益于因特网的四通八达和数码科技的问世,我们使用的材料不是自己重新录制的,而是从现场或因特网广播等上获取的,所以它不论是内容还是风格,如语速、语调、谈话形式等都原汁原味,使同学接受到真实的日语,同时也试试自己到底能听懂多少。尤其是听的环境是真实的,如车站广播,虽然会有些杂音,但实际情况就是如此。所以听这种材料不是纸上练兵,而是在水中学游泳。

3. 听力训练必须贴近现实

无论是题材还是体裁,我们在选择时,始终坚持必须贴近现实的原则。如题材,从车站广播、天气预报、政府公告、商业广告、童话、故事、广播剧、新闻报道等等,都是和日常生活密切相关的内容。体裁兼顾了对话、访谈、交谈、讲解、介绍、广播等多种形式。我们的这些设定,可以让同学将来接触到这些东西时起码可感到不陌生,而能够从容地去应付。

4. 尊重“听”的规律

“听”会受到很多客观因素的制约,如受人的生理方面的制约。因此听力和记忆力有关,相关研究表明,人在听的过程中的记忆能力只有20秒左右,这就告诉我们,听的每个片段不宜太长,若太长,即便听懂了也记不住。我们将每个听的片段设计得尽量短一些,以符合这个客观规律。又如,听力具有选择性,所以我们将设问放到了听的开始,使同学能有目的地去听。再者,遵循由易到难的原则,听第一遍设问些显而易见的信息,如时间、地点等;第二遍则就过程、梗概、大意进行设问;第三遍再设问具体细节及其判断正误。这样逐渐听懂每

个片段。

5. 突出获取信息能力的培养

以往的一些听力教材,从文本的选用到问题的设问,无异于精读课的设计和上法,仍在讲词汇练语法。本册教材从选材到设问,都以培养同学获取信息能力为出发点,强调听完每个片段后,通过重点设问、连环设问、多项选择、判断正误等,引导同学利用背景知识、相关信息、前后提示、逻辑推理等手段,在获取信息上下功夫,以培养其获取信息的能力。

6. 发挥“听”的“输入”功能

第二言语习得研究证明,外语能力的获得,需要大量的“输入”。“听”在外语学习过程中的另一个功能就是“输入”,所以本册教材安排了20课,而且每课又分课堂部分和课后部分,完全是出于这一考虑设计的。我们不奢望听完这册教材就能完全提高了听力,而是想由此告诉同学们,要去大量地听,只有达到了一定的量,才会有质的变化。

7. 本册教材的使用方法

本册教材供第二学年第二学期或第三学年第一学期使用。据我们的调查,这个阶段不少院校每周只安排一次两节听力课,所以本册教材按一个学期16周设计,一周一课,但考虑到不同院校的水平及进度不同,我们编写了20课,备下选择的余地。

每次两节课按100分钟编排,我们通过反复使用测试,认为每课的听力材料总长度,最好控制在20分钟左右(但根据其信息的密度,有的略短些有的略长些)。即每个片段设计听三遍,这样至少就用去了60分钟,同学答题时间约20分钟,其余为老师的提示、讲解时间。根据同学的程度,当然也可以听多遍。

具体听法如下:

听前,即“ウォーミングアップ”部分,根据内容的多少,给同学半分或1分时间浏览给出的信息,熟悉内容,真正做到“热身”。

所听内容按“○次の問題を頭に入れながら聞きましょう。”“○では、更に次の問題を意識しながらもう一度聞きましょう。”“○もう一度聞いて、確認しましょう。”三步设计,每步下都设有若干个具体听力问题,首先边听边看这些设问,同时浏览相应的选择项。否则,同学将不知道要听什么。然后,再开始听正式内容。

另外,我们前面提过,每个听的片段不宜过长,所以,我们根据内容,把一个长的听力材料分成几段来听,并分别设题让同学回答。这样就需要教师备好课,了解分段的所在。

再者,本册教材备有教学参考书,提供答案和听力材料文字稿,建议同学不要提前看,在听过几遍后实在听不懂时再看,只有这样做才对提高听力有益。

8. 说明

由于不少听力材料是即席对谈,谈吐中助词脱落、约音、音变等很多,其中也有口误,但文字文本中我们没做改动,请上课老师自己把握。对收录的单词,我们只做了本课用法的释义;另外,收录了不少地名、人名等固有名词,一则是因为读音较难,二则是我们觉得在听力理解中地名、人名等都是重要信息。

9. 致谢

我们在编写本册教材之际,为了确保听力所使用材料的原汁原味,从因特网等诸多媒体上选用了很多篇段。我们没能一一与所选篇段的媒体或作者联系,敬请原谅。并请理解我们的所为——完全是为了提高中国的日语教学。在本书的附录中,我们以“网络资源”的形式列出了所选用材料的各媒体,以表示我们诚挚的谢意。对策划、指导本册教材编写的陈丽菲教授、徐敏民教授、杜勤教授和高宁教授表示衷心的感谢。

教材的编写是一项十分严肃和重要的科研工作,我们力图本着严谨、务实和科学的态度编写本册教材,但是,由于水平有限,经验不足,错误与疏漏在所难免,敬请日语界同行和广大读者不吝赐教。

编者

2006年10月9日于西安

目 次

授 業 用	課 外 自 習 用
第 1 課 童話(語り) / 1	・ 山形県佐兵の頓知話(語り) / 12
第 2 課 伝統行事(解説) / 13	・ 占い師の相談部屋(紹介) / 24
第 3 課 風習の数々(解説) / 26	・ お酒の話(インタビュー) / 36
第 4 課 政府広報(会話・解説) / 37	・ 政府広報(解説・対談) / 47
第 5 課 生活安全情報(解説) / 49	・ 火災防止対策(解説) / 59
第 6 課 天気予報(対談・解説) / 60	・ 気象情報(対談・解説) / 72
第 7 課 商品広告(ラジオ広告) / 74	・ その続き(ラジオ広告) / 86
第 8 課 駅構内・車内放送(オリジナル放送) / 89	・ 特急列車の車内放送(オリジナル放送) / 103
第 9 課 環境保護(現地レポート) / 105	・ アロマセラピー 花粉症(解説) / 123
第 10 課 生き方(対談) / 124	・ 声優の紹介(対談) / 135
第 11 課 東京暮し相談(クエスチョンとアンサー) / 137	・ 赤ちゃんが笑う時(インタビュー) / 147
第 12 課 ニュース[政治・社会](ラジオニュース) / 148	・ その続き(ラジオニュース) / 159
第 13 課 やさしさよ(対談) / 162	・ 思い出に残る映画(紹介) / 172
第 14 課 ニュース[経済](ラジオニュース) / 173	・ その続き(ラジオニュース) / 187
第 15 課 健康に暮らしましょう(解説) / 189	・ 食べ方など(解説・インタビュー) / 198
第 16 課 自分を表現して(対談・解説) / 199	・ 自分の目指すもの(発表) / 208

- 第17課 ショートストーリー(朗読) / 209 • 刺激(朗読) / 217
- 第18課 僕の愛した人(ラジオドラマ) / 219 • 高天原高校新聞部(ラジオドラマ) / 228
- 第19課 ロボタン(ラジオドラマ) / 229 • ロボタン(ラジオドラマ) / 236
- 第20課 ニュース[スポーツ](ラジオニュース) / 237 • その続き(ラジオニュース) / 248

附录 / 251

- 一、日本の都道府县 / 252
- 二、东京轨道交通图 / 254
- 三、大阪轨道交通图 / 255
- 四、单词表(単語リスト) / 256
- 五、网络资源 / 298

第1課 童話(語り)

内容1 童話1

○ ウォーミングアップ

スタイル: 語り

登場人物: 和尚 小坊主 一休 弥助

提示単語:

な 嘗める	バリバリ	つは 壺	とつくに	とっさ 咄嗟	すずり 硯	いご 囲碁	ごふくや 呉服屋
たね 種	はがみ 張り紙	けもの 獣	たいこ 太鼓	とんち 頓知	かな 敵う	けがわ 毛皮	なにやら
たふだ 立て札	おかまい	どうどう 堂々	かぶと				



その1

○ 次の問題を頭に入れながら聞きましょう。

1. 次の語の正しい読み方はどれですか。

和尚 小坊主 障子 水飴 一休

2. 壺に入っているものは何ですか。

メモ

◎ 1の選択肢

- | | | | | |
|-----|---------|----------|---------|---------|
| 和尚 | a. おしょう | b. おうしょう | c. おしよ | d. おっしよ |
| 小坊主 | a. こほうず | b. こぼず | c. こぼず | d. こほうず |
| 障子 | a. しょうし | b. じょうし | c. しょうじ | d. じょうじ |
| 水飴 | a. みずがめ | b. すいがめ | c. みずあめ | d. すいあめ |
| 一休 | a. いきゅう | b. いっきゅう | c. いっきゅ | d. いきゅ |

2の選択肢

- a. 毒 b. 飴

- では、更に次の問題を意識しながらもう一度聞きましょう。
1. 小坊主たちは何を見ましたか。
 2. 和尚さんはどんな嘘をつきましたか。
 3. 一休さんはなぜ泣いたのですか。
 4. 一休さんはどのように水飴を食べたのですか。

メモ

◎ 1の選択肢

- a. 和尚さんが壺の中のものを食べているところ
- b. 一休さんが壺の中のものを食べているところ
- c. 和尚さんが毒を飲んでいるところ
- d. 一休さんが毒を飲んでいるところ

2の選択肢

- a. 何も嘗めていないという嘘をつきました。
- b. 水飴を嘗めているという嘘をつきました。
- c. 毒を嘗めているという嘘をつきました。
- d. 毒と水飴を嘗めているという嘘をつきました。

3の選択肢

- a. 硯を割ってしまったからです。
- b. 毒を飲んでしまったからです。
- c. 自分が怖かったからです。
- d. 和尚さんの注意を引きたかったからです。

4の選択肢

- a. 和尚さんの壺でそのまま食べたのです。
- b. 和尚さんの壺を壊して食べたのです。
- c. 和尚さんの壺を盗んで食べたのです。
- d. 和尚さんの壺を借りて食べたのです。

- では、もう一度聞いて、次の問題に答えましょう。
内容と合っているに○を、違っているものに×をつけてください。

メモ

◎ 選択肢

- a. () 小坊主たちは和尚さんが言っていることを信じています。
- b. () 壺に入っているものは何か、小坊主たちはとっくに知っています。
- c. () 一休さんは壺に入ったのは毒だと信じています。
- d. () 一休さんはわざと硯を壊しました。
- e. () 和尚さんが一休さんを叱ることができなかったのは自分も嘘をついたからです。



その2

- 次の問題を頭に入れながら聞きましょう。
 - 1. 次の語の正しい読み方はどれですか。
 囲碁 呉服屋 弥助 太鼓
 - 2. どうして弥助さんはよく寺に来ましたか。
 - 3. 弥助さんはいつもどんな服を着ていますか。

メモ

◎ 1の選択肢

- | | | | | |
|------|---------|---------|---------|---------|
| 囲碁: | a. いっこ | b. いご | c. いこ | d. いっこ |
| 呉服屋: | a. ごぶくや | b. こぶくや | c. ごぶくや | d. こぶくや |
| 弥助: | a. やすけ | b. たすけ | c. やたけ | d. たやすけ |
| 太鼓: | a. だいく | b. だいく | c. たいく | d. たいこ |

2の選択肢

- a. 和尚さんに招かれるからです。
- b. 和尚さんと囲碁をしたいからです。
- c. 小坊主たちと囲碁をしたいからです。
- d. 小坊主たちを寝させたくないからです。

3の選択肢

- a. 呉服
- b. 毛皮の服

- では、更に次の問題を意識しながらもう一度聞きましょう。

1. どうして弥助さんの来るのが悩みの種になりましたか。
2. 一休さんは弥助さんを来させないため、何をしましたか。

メモ

◎ 1の選択肢

- a. 弥助さんは囲碁が大好きで、和尚さんと囲碁を始めると終わらないからです。
- b. 小坊主たちは囲碁が好きではないが、弥助さんとしなければならないからです。
- c. 弥助さんはいつも小坊主たちを寝させたがらないからです。
- d. 弥助さんはいつも遅くまで帰らず、小坊主たちは寝ることができないからです。

2の選択肢

- a. 寺の門に張り紙を張って、毛皮を着た人しか入らせません。
- b. 寺の門に張り紙を張って、毛皮を着た人を入らせません。
- c. 寺の門に張り紙を張って、太鼓を持った人しか入らせません。
- d. 寺の門に張り紙を張って、太鼓を持った人を入らせません。

○ では、もう一度聞いて、次の問題に答えましょう。

1. 弥助さんが今日いつものとおり、寺に入った理由は何ですか。
2. 対策として、一休さんたちは何をしましたか、自分の話でまとめてください。

メモ

◎ 1の選択肢

- a. 弥助さんは寺の門に張ってあった張り紙を見なかったからです。
- b. その日、弥助さんは獣の皮を着ていなかったからです。
- c. 寺の中の太鼓も獣の皮が張ってあるからです。
- d. その日、弥助さんは太鼓を持っているからです。

2の答え:

 **その3**

○ 次の問題を頭に入れながら聞きましょう。

1. 誰が誰に手紙を書きましたか。
2. 弥助さんの家へ行くには、何をしなければならないのですか。

メモ

◎ 1の選択肢

- a. 一休さんが和尚さんと弥助さんに手紙を書きました。
- b. 和尚さんが弥助さんと一休さんに手紙を書きました。
- c. 弥助さんが和尚さんと一休さんに手紙を書きました。
- d. 和尚さんが弥助さんに手紙を書きました。

2の選択肢

- a. 弥助さんに手紙を書かなければなりません。
- b. 橋を渡らなければなりません。
- c. 立て札を立てなければなりません。
- d. かぶとを脱がなければなりません。

○ では、更に次の問題を意識しながらもう一度聞きましょう。

- 1. 弥助さんが一休たちを招いた本当の目的は何ですか。
- 2. 文末の最後に「かぶとを脱ぎました」という言葉がありますが、それはどういう意味ですか。

メモ

◎ 1の選択肢

- a. 感謝したいからです。
- b. 奢りたいからです。
- c. 橋を渡らせたいからです。
- d. 困らせたいからです。

2の選択肢

- a. 敬服です。
- b. 軽蔑です。
- c. 意地悪です。
- d. 迷惑です。

○ では、もう一度聞いて、次の問題に答えましょう。

- 1. その立て札に書いてある「はし」は漢字で書けばどれですか。
- 2. 一休さんが言っている「はし」は漢字で書けばどれですか。

- b. お姫様のお父様
- c. お姫様のお母様
- d. お姫様の新しいお母様

2の選択肢

- a. お姫様のお父様
- b. お姫様の新しいお母様
- c. お姫様のお母様
- d. お姫様の新しいお父様

3の選択肢

- a. 観音様
- b. お姫様自身
- c. お姫様のお父様
- d. お姫様のお母様

- では、更に次の問題を意識しながらもう一度聞きましょう。
- 1. お姫様はどんな人ですか。その特徴を三つ選んでください。
 - 2. お姫様が死にたくなかった理由を三つ選んでください。

メモ

◎ 1の選択肢

- a. () 賢い。
- b. () 美しい。
- c. () 背が高い。
- d. () やさしい。
- e. () 琴が上手だ
- f. () 歌が上手だ。
- g. () 料理が上手だ。

2の選択肢

- a. () 自分はもう重い病気にかかったからです。
- b. () 自分は家から追い出されたからです。
- c. () 頭に鉢を被せられて、醜くなったからです。
- d. () 他人に苛められたからです。
- e. () 母のことを懐かしく思っていないからです。

- では、もう一度聞いて、次の問題に答えましょう。
- 1. 各文の()に適当な人物を書き入れてください。
- 2. 姫様の運命を予測してみて、その理由も話してみてください。

メモ

◎ 1の答え

- a. ()が重い病気にかかりました。
- b. お姫様は()に家から追い出されました。
- c. ()はお姫様を馬鹿にしたり、気味悪がったりしました。
- d. お姫様は()に石を投げつけられました。

2の答え: _____

その2

- 次の問題を頭に入れながら聞きましょう。
- 1. お姫様は誰に出会いましたか。
- 2. お姫様が水に沈めなかった理由は何ですか。

メモ

◎ 1の選択肢

- a. 観音様
- b. お母様
- c. 若君
- d. 若君の両親

2の選択肢

- a. 実は死にたくなかったからです。
- b. お姫様は水泳できるからです。
- c. 頭に鉢があったからです。
- d. 家来に助けられたからです。

- では、更に次の問題を意識しながらもう一度聞きましょう。
- 1. 若君は姫様をどうさせましたか。
- 2. なぜ姫様は琴を弾きたくなりましたか。
- 3. 若君は何に心を奪われましたか。

メモ